

‘07-10-19

平成19年11月度「街づくり委員会」議事録

日時：‘07-11-15（木）19：30～21：00

場所：膳所駅前商店街振興組合事務所

出席委員：橋本、中井、竹吉（平野自治連）、乾（運営準備会）、森、杉本、川上（平野商店街）、森、雨宮、奥村、戸所、上原、寺井、西本（膳所駅前商店街）

議事内容：

1. 10月度「街づくり委員会」議事録の確認（乾委員）
2. コミュニティバス導入のコンセプトの設定（戸所委員）

先月度に引き続きコンセプト造りの議論を行った。種々意見が出されたが、分かりやすく明快であることを念頭に置き以下の通りとした。

「安心で、楽しく、元気に暮らせる街づくりを目指して、特に高齢者が、病院、商店街、公共施設を利用するための交通手段、そして住民自らが主体的に運営する交通手段としてコミュニティバスを導入する」

3. 運行ルートの検討（雨宮委員）

上記コンセプトに従い、具体的な運行ルート案を平野学区のマップを使って検討した。湖ルート、山ルート別に膳所駅、市民病院をキー核ステーションとする周回ルート案を設定した。本案でもってまず大津市建設部の高木主査と打ち合わせを行い、中川先生との面談に臨むこととした。

<大津市建設部交通・建設管理課高木主査との面談結果>

面談日時：11月16日（金）13：00～14：00、当方：雨宮、奥村、戸所、乾

面談内容：平野学区でのコミュニティバス導入構想につき説明し、更に具体的な運行ルートの説明を行い、中川先生との面談をセットして欲しい旨要望した。これに対し、高木主査から以下のコメントがあった。

⇒ 皆さんのコミュニティバス導入への熱意と検討の結果は評価するも、運行ルートについては総花的な感があり再考が必要。更に運営システムの基本骨格案を作成して欲しい。それを見た上でないと、中川先生との面談には持ち込めない。

高木主査との面談で、新たな課題が出来た。運行ルートを実走行して運営経費の試算などを行い再検討をして次回に臨む。

以上